

くぼた防災事業

5月 防災連絡網の更新

今年度の役員報告をもとに、各地区の防災連絡網を更新しました。5月の文書配布日に合わせて、各地区へお届けしました。6月11日の防災訓練では、この連絡網をもとに住民の安否確認を行うなどの通信訓練を行います。



6月11日(日) 佐田地域自主防災訓練 《窪田コミセンの取り組み》



毎年6月に、大雨による洪水被害を想定した佐田町一斉の自主防災訓練を行っています。



窪田コミセンでは、佐田行政センターからの要請を受け、地区災害対策本部を立ち上げました。

その後、各振興協議会へ地区防災部の立ち上げ、住民の安否確認、一時避難所の避難状況報告を要請する等の通信訓練を行いました。

《八幡原川振興協議会の取り組み》



各地区持ち回りで行っている避難行動訓練。

今年度は、八幡原川地区が取り組まれました。



窪田コミセンを指定避難所として、住民の方が自主避難する訓練。受け付けで一人ひとり氏名の確認作業がされました。

《八幡原川振興協議会の取り組み》(続き)



確認作業を終えた方から講義室に集まり、揃ったところで支援物資の組み立て作業を行いました。

段ボールベッド、仕切りテント、簡易トイレを組み立てました。

また、コミセン駐車場には給水車による給水支援訓練も行われ、各自専用の袋に水汲みも行いました。



6月21日(水) 防災学習会



窪田コミュニティセンターにおいて、各地区防災部の役員を対象とする防災学習会を開催しました。

前半は、講師に出雲市防災安全課防災係・岸晃彦さんをお招きし、最近の災害発生状況と、家庭に必要な防災対策について講演いただきました。



後半は、去る6月11日に実施した「佐田地域自主防災訓練」での問題点や改善点などについて話し合いました。様々な意見が出され、また、今後の改善に向けた検討事項を確認しました。